

行名

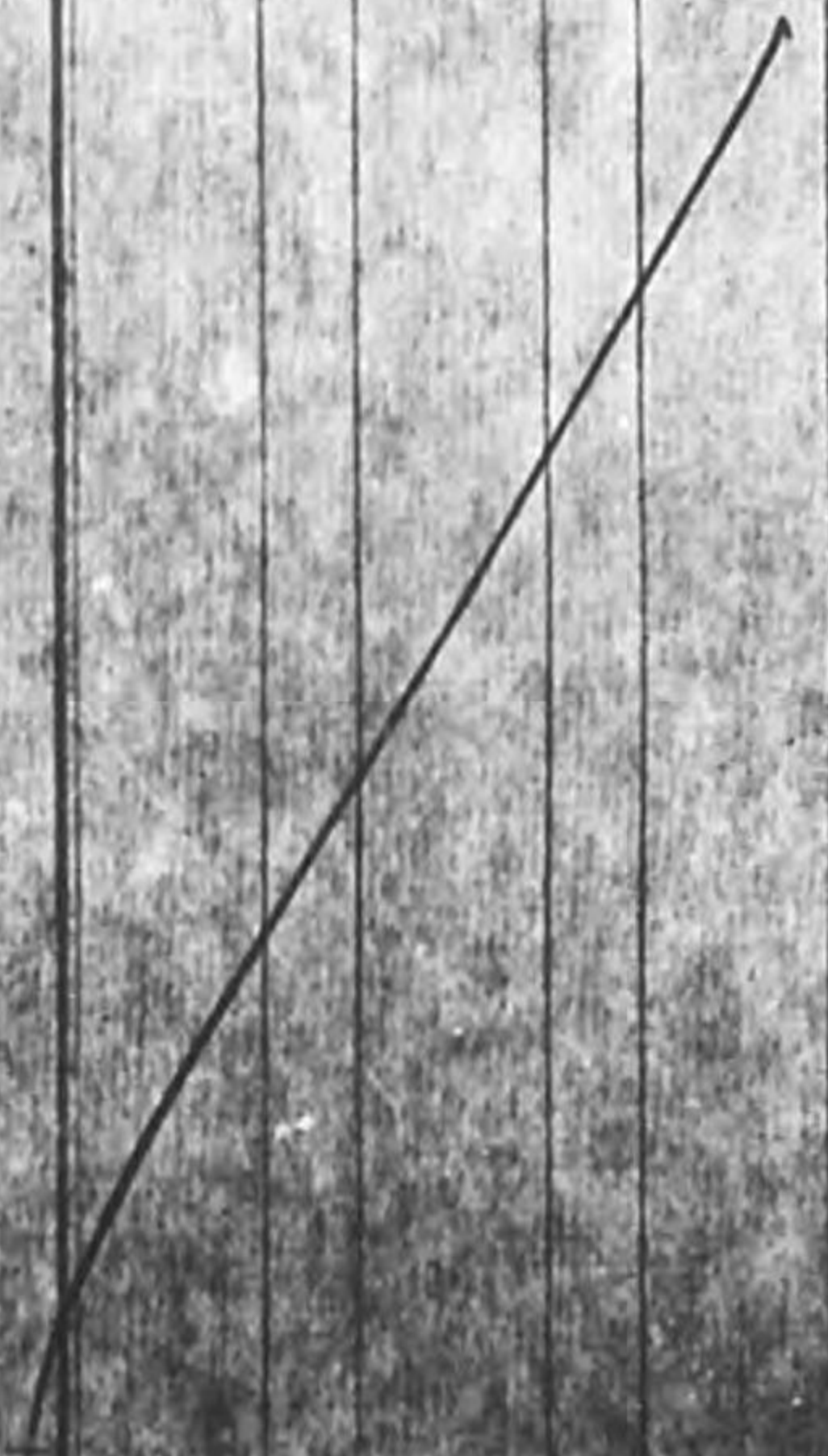
頁

號

通定

加カリマシテ、未カ知明

申上ル事有ル事カ



行名

頁

號

通定

レテ居ルコトハ、中存

テアリマス、其ノ後

対、益、我カ国トシテ提

協力ニ依リテ、戦争完

大東亞共栄圏建設

戰之依儿支那、子内
 混亂之策、其、竟、
 力、軍、力、極大強化、
 婦人、事、少、少、
 其、結果、現在、
 其、結果、現在、

次、中、其、產、
 所謂西安事件、
 民族統一戰線、
 計畫、
 事、
 事、

18 頁

建設、之ヲ擔負、
 北ニ於テハ、初メ、
 軍、中支方面ニ於テ、
 新四軍ヲ組織、
 於テ相當ノ兵力ヲ擁シ、

17 頁

及ニテハ、延安ヲ中心トシ、
 陝甘寧、辺、巴、政府
 ヲ立テ、其ノ指導下ニ
 北支中支、帶、大、
 十數邑ノ赤色地、

正際反
 統ヲ擁護
 戰守カ勅
 卜、太平
 確立ヲ唱
 結始

第 號

速記擔任者

各ルノ
 支那事
 支那民族
 成ヲ叫
 戰後ニ於
 獨ノ南
 一戰線統
 友侵略
 彼等ハ

第 號

速記擔任者

★

第 號

連記責任者

致 三 三 夕 一 卜 金 庫
 不 断 一 討 伐 又 經 済
 封 鎖 等 一 依 り 二 三 三 其
 抗 敵 力 一 漸 次 低 下 三 三
 各 一 模 様 切 一 月 一 二 三 三 三

本院連記

第 號

連記責任者

テ ル ン 一 格 導 一 体
 其 一 政 治 回 標 達 成 二 三
 カ 三 三 各 一 一 一 一 一 一
 独 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 方 面 カ 三 一 一 一 一 一 一 一 一

本院連記

24

地域に潜行致すに
或ハ皇軍將兵に對スル友
敵宣傳 子民政府ノ
賊員軍警ニ對スル
寢返リ工作 民族意識

連記擔任者

23

彼等ハ之ニ對處スル方案
トシテ極力武力敵ヲ
避ケテ非色化也ニ於ケル
民衆ノ組織 訓練ニ
幫人ノスト考ニ 成功点

連記擔任者

會名

28

首腦者閣二八封曰若
 卜之此一 案之於
 合依之 續之
 下之及下 殊之 大
 戰軍之 卸發之 其英

會名

27

之之 兩者八其人塔
 地帶之於之 從來屬
 突事件之起之
 之之 案証之
 之之 案証之

第 號

速記擔任者

...

...

30

一 聲明
 二 關於八兩者
 三 關於十二年九月一
 四 宣言
 五 向確認致
 六 二
 七 又最近
 八 重慶
 九 中央軍
 十 新疆
 十一 者

29

一 支
 二 聯合
 三 戰線
 四 統
 五 成
 六 以
 七 來
 八 其
 九 傾
 十 向
 十一 八
 十二 宣
 十三 佈
 十四 十
 十五 月
 十六 五
 十七 日
 十八 民
 十九 衆
 二十 十
 二十一 中
 二十二 國
 二十三 會
 二十四 決
 二十五 議
 二十六 並
 二十七 中
 二十八 共

會名

第 號

速記擔任者

各儿卜新多、此、間、
 事情ヲ表明スル也、
 下リ又、斯ク、好ク、
 中子共産黨ハ支那、
 於テハ、振回、戰線、有力ナ

速記擔任者

會名

第 號

速記擔任者

進駐セシメテ、多年中
 共倒、最モ固心ヲ持ツテ
 北西北、谷路ヲ掌握
 以テ、
 中共倒カ、沈黙ヲ守ツテ

速記擔任者

34

討伐、又經濟封鎖、之
 依、共產地区、ノ、遺域、ヲ
 圖リ、マス、ト、共、ニ、
 郷村、保、
 制度、ノ、推、進、
 治安、強、化、
 運動、其、他、之、統、一、
 般、民、

通記責任者

33

ツ、ノ、支、柱、
 日、華、協、力、上、甚、
 十、ル、勢、力、
 帝、子、ト、シ、テ、ハ、支、那、側、
 協、力、ニ、テ、出、来、ル、外、
 武、力、

通記責任者

又經濟建設 / 促進
 依此民政 / 安定
 初之 / 統一
 / 優渥 / 餘地
 此 / 根本
 之 / 根本

連記擔任者

連記擔任者

眾 / 指導 / 啓發 / 訓練
 第 / 一 / 步 / 之 / 大 / 局
 的 / 二 / 小 / 先 / 程 / 中 / 上 / 之 / 多
 中 / 之 / 民 / 政 / 府 / 一 / 政 / 治 / 力
 強 / 化 / 二 / 依 / 此 / 治 / 安 / 一 / 確 / 立

連記擔任者

握ニ及ボシタル影響、之ニ
 對シテ政府ノ指導方針如
 何トシラズトデアルニモスガ、是ハ
 恐ラク御覽閣ノ趣旨ハ邦人
 ノ經濟活動カ支那ノ民心

速記擔任者

手帳

根本ヲ置イテ進ムヨリ外ハ
 ナリト考ヘテ居ル次第デアリ
 マス
 エウツツ支那ニ於ケル邦人
 經濟活動カ支那ノ人心把

速記擔任者

4 日

慶側其他ニ逆宣傳ノ種
 ニ使ハシテ、申上ゲニクイノ真
 アリマスノテ、此ノ機會ニ
 申上ケルノカ便利カト思ヒマ
 ス、此ノ真ニ付テ実情ヲ考

3 日

收攬上却テ害ヲオ、
 ハセヌカト云フ意味ノ御尋
 カト思ヒマス、是ニ御答
 任方ニ依リマシテハ、
 直ニ事實ヲ申上ゲマス
 直ニ事實ヲ申上ゲマス

民心收攬上 障礙トナリ
 居ルト云フニトモ 否定シ難
 キ莫カアコトヤウニ 存シタ
 併シナカテ 是モ 事変ノ 過
 程 又帝國ノ 戰爭遂行

速記擔任者

察致シタスト 或ニ 意味ニ
 於テ 或ル 部面ニ 於テハ 現在
 ノ 支那ニ 於テハ 我カ 邦人ノ
 經濟活動ノ 実情ハ 支那
 ノ 民心ヲ 離反ニ 導キ 又

速記擔任者

會名

第

號

速記擔任者

子

過渡期ニ於テ必要ナル結
 果トシテ生レタモハアルカ
 ト思フノテアリマス、併シテ
 ラ中ニハ在支邦人カ政社
 ノ考ヘテ居ル聖戰目的ヲ

本國國史記

會名

第

號

速記擔任者

夕

上必要ナル物資取得ノ要
 請カラ来タ莫モアルノテ下リ
 マス、又中ニハ事發後支邦
 側カ協力シテ、我が方テ
 ヤルヨリ外ナク、斯クシテ

本國國史記

10頁

和十イケレトモ、重慶側或
 ハ共產党側ノ宣傳ニ依リテ
 日本人ノ經濟活動が支那
 ノ經濟的侵略ナリト云フ
 誤レル印象ヲ民衆ニ植エ

本編記責任者

9頁

理解セズレテ、徒ラニ利
 權獲得乃至ハ私利ニ趨キ
 ズレテ結果、今ノヤウナ狀
 態ニナリタモノモヤルノ下リ
 マス、又中ニハサウ云フ狀態

本編記責任者

會名

第

號

速記擔任者

先程申上ゲマシタ通り、市
 費後ニ於キマシテハ支那側
 民衆殊ニ經濟界ノ對日
 協力カ行ハレナカッタ事態
 ニ於キマシテ、勢ヒ日本側ノ

米陸院速記

會名

第

號

速記擔任者

付4月1日、宣傳ノ結果、
 事實以上ニ誤解セラレル莫
 ク、少クナリ、加實情ヲ示
 スト思ヒマス、

米陸院速記

二十分協力スルト云々ト
 官民共ニ考ヘカ進
 又一方國策事
 支那側ト見マシト感
 資源強奪ノ如ク宣傳

衆議院速記

活動ニ依ツテ重要資源ノ
 開発獲得ニ努力メテケル
 ナラヌ、斯ク云フ事能カ
 リマシタケシト云、併シナカラ
 今日ニナリマシト支那側

衆議院速記

16日

殊ニ支那側ノ資金を
 一進出ヲ促シ、出資
 日支合作一是ハ必
 又合辦ノ形ニ限リ
 カ、日支合作ノ形ヲ本
 出資者

15日

サレルヲモ非特ニ有
 アリマスノテ、出資
 サラユフ宣傳ノ生
 ノナクヤラニ之ヲ改
 コトが好マシクムテ
 出資者

18日

ノ新處理方針ノ中ニ
特ニ指擡シテアハル必要アリ
コトナクマズ

○年次本委員長

吳ニ

テ此ノ間皆クシカラ御要

速記擔任者

18日

ニ共存共栄ノ実ヲ各務
ノ企業其ノ他經營活動
ノ面ニ具現シテ行クコト
カ今日ニ於テハ望ムベクナリ
アリマス、其ノ基ハ先程私

速記擔任者

○高田委員員
 又今ノ
 政府ノ御説明デモ分明ニ
 ナラナク兵カアリマスノテ
 一
 二
 御質問申上ケタリト曰ク
 又
 又スハ
 又ハ此ノ度ノ御説明

速記擔任者

望ノアツク題目ハ清クテ款
 アアリマスガ、今テノ説明ニ關
 聯シテ尚ホ此ノ秘密令ニ
 御質問ガアリマシテ此ノ
 際御懇ニ致シマス

速記擔任者

會名

第 號

速記責任者

22日

際ニ於テハ敵産処理ノ
 云フ方針ヲササルカ、
 カ今日ニテ英米ノ有
 大ニ
 重戦争勃發ト同時ニ
 敵産トシテ接收シタ
 事

會名

第 號

速記責任者

21日

那ニアリマスガ、汪
 北領政
 権ノ參戰後ニ於テハ
 日米ノ
 對支處理方針カ非
 同ニ
 變化シテ来タト云フ
 事トハ
 御尤モアリマス。其ノ

速記責任者

會名

第 號

速記責任者

炭シテ居ル 関 濠 土 石 等
 如キモノ 将来 汪 政 権 方
 アレトシテ 元ハ 英國ノ 資本
 投下ノモノデ アルカ多 当然
 五ノハニ 返シテ 實ニ 多ク ト云フ

會名

第 號

速記責任者

最近 汪 政 権ニ 返シテ 居ル
 ルヤラニ 見受ケラレルノヲ
 アリマス、 サラサト 租界
 ニ 能ケルモノハ 兎ニ 角トシテ
 現ニ 日本ガ 権力ヲ 持

日下トシテハ之ヲ
 返ス御計存カトウ
 若シモ總ノカ
 ナク先ヨリ
 リクピン
 及ヒ
 種
 種
 種

命名

命
 要求ガアリマシタ
 環

速記擔任者

宗廟

○五月十日國務大臣

支那

於此敵艦之處理に付て

概略方針ハ是程中

々々了るに敵艦に中

々々大車重戦艦一完遂に

一際ニ於ては從軍ノ要求ニ

對シテは大ナリ

一々事々々々々々々々々々

上矣之付々々々々々々々々

預々々々々々々々々々々々

30 Ⅱ

リ、
 是、
 加、
 御、
 先、
 針、

29 Ⅱ

爲、
 一、
 針、

2頁

了方の二決マテ
 向フノ事トシテ
 三ト云フヤウナ
 國民政府モ我
 方ノ事トシテ
 國民政府モ我
 方ノ事トシテ

31頁

言ハハ大
 爲ニ我
 言ハハ大
 爲ニ我
 言ハハ大
 爲ニ我

會名

第 號

速記擔任者

36

一之ヲ處理セテ行ク
 下ハ、將來支那ノ肥田
 此程困難ノ甚シキ事ト見
 出テ、
 現狀ニ於テ
 御目等ニ及ルハ、
 一

會名

第 號

速記擔任者

35

他ニ於テ、
 南支ニ於テ、
 二程而為米ハ、
 重キモノアリシテ、
 日米ノ方ノ行、
 一

速記擔任者

會名

第 號

連記擔任者

石

来ノ湖ノ額トシテ給程條ノ

考ヘニナリナケル心ナリナケルナリト思フ

アリテ今ノ湖ノ額ニ



會名

第 號

速記擔任者

二對シテ獨立スルカケノ力カナクハ
 不ク言ハレシカ、ソレハ御尤モ
 抑メ、ヒルマシ、ソレハ
 善ノ支配トモ、善ノ善本
 トシテ、ヒルマシ、ソレハ
 善ノ善本トシテ、ヒルマシ

會名

第 號

速記擔任者

他ノ人カヲモ、話カアツタ
 心トモ、指シテ言フハ、何
 事カ、ヒルマシ、要
 事トシテ、御聽取
 シ、日本ハ何時マシモ、ヒルマシ

速記擔任者

トウラモカアツタテアツニ、此ノ英
 子ノ統治カナクナリ、英子ノ治本ヲ
 敵主性トシテ日本カ手ニブレタ場合ニ、
 残リタモハ骨ト皮ハカクテアツニ、
 到底是外ケテハ狹主ハ書素ワコナク

外、是の如く如常の國に於ては、ソコ
 君政治的の考へて是れは、即ち
 「エナンのコソノ石油をこまけても、
 ソレ鉛をこまけても、或いは「イ
 舟航機をこまけても、ソレ等ノ
 河

「ロンドン」ト云テ其の経済的の力加ナシ
 國防的の力加ナシカウ、日本ノ軍隊
 2 駐屯シテ、
 2 依ツテ、
 2 依ツテ、
 2 依ツテ、

皆日本が取ツテシマツテ残クテ独立
 セコト言フテモ、ソレハ出来ナイ、
 カラシク全部和議ノ可ハ固クテ重
 ツテ、政治的ニヒンマノ独立ト云フモ
 ノヲ許シテ下サレケレバ、

10

氣持ニ彼等モナクテ居ルヲ知アラフコト
 天、對支處理方針ト云ヒテカ、在支
 敵產處理方針ト云フモノニ關係シ
 天、ソルマシテ、スウツヒンモ私同様
 カト思フヲ知アラフモノカ、ソウツヒンノ

速記擔任者

斯ウ行ハル、ソルマシテ、民衆ハ、
 付クテ、カト云フヤラナシ、
 言フテ、居ルヲ知アラフモノカ、
 銘カ、ソルマシテ、日本ニ、要本ト云ヒマス
 カ、摺リテ、居ルヲ知アラフモノカ、
 同シヤラナシ

速記擔任者

○少本(總)政府委員
 此ノ例
 ヲ御示シニテ
 ヤルト
 兎角
 事
 中ノ例

方ハ私知リマセヌノテ申上ケ兼ネマス
 カ、相与重大性ヲ帯ヒんカト思ヒマス
 三、秘密命令ノ場合ヲアノマスカウ、
 此ノ際十分政府ノ方針ヲ御伺ヒコト
 ト思ヒマス

返して是れより下ニツラヤリナリ或ナキ
 ナレモアノコト又アリタ、日本側
 来方東軍ノ建設ナリ或ハ戦争
 道ニ由要ナレハ持ツテ居ルガ其
 ノモノハ出来ん外ナリ返して是レ
 ナリヤリ向フ

通記責任者

返して是れより下ニツラヤリナリ或ナキ
 ナレモアノコト又アリタ、日本側
 来方東軍ノ建設ナリ或ハ戦争
 道ニ由要ナレハ持ツテ居ルガ其
 ノモノハ出来ん外ナリ返して是レ
 ナリヤリ向フ

通記責任者

18

○高岡委員

更ニモヤリニ錦戸

ネニタケルハ、将来香港や海南島ハ

一先トシテ下ニ相成シテ御尋常ニ

シラス

○山本(總)政務委員

香港、海南島

19

經濟力ノ發展及ヒ政治力ノ強化ト

ナラヤサナラニモ、自強ノ途ヲ講ズル

上ニ於テハ更ニテアムモノハ、モトモト

餘計ニシテヤルトナラヤサチ方針ヲ

進メテ居ルハ、實情ヲアツクス

速記擔任者

19

島ノ下ニ付キニテハ、口ハ人ヲ政社ノ

方カク何トモ申上ルニ至ラズんニ其情ニテ

リテモ、但ニ是等ノ下ヲ処理スルニ付キ

ニシテモ、人ヲ家ノ社政事ノ根本理

念ニ合テスルヤウニ決定サレんニテ

アムト
フ
フ
フ
フ
附加ヘテ
置キ
了
了

○木村(武)委員
北支、蒙、疆

於今ん
昔産党ノ
官情
テ
ア
フ
了
了
が、

アノ
方面ニ
事
變
前
昔産党
員
が

大
体
ト
レ
位
好
ク
タ
カ、
リ
シ
カ
ラ
現
在
ハ

台名

第 號

書記擔任者

72

組織の1ノ程は、済遠にて居んか、
 民衆組織の1ノ程は、済遠にて居ん
 か、蒙支、蒙疆、多クニアツクニテ
 滿洲に對しては、苦産党の活動も相も
 活況を經て居る居んと覺ルノ事アリマ
 ン

本報編輯部

台名

第 號

書記擔任者

71

1ノ程は、苦産党員が廻エテ居んか、
 リシカウ日本人が苦産党員トナラテ
 ア、地テ活躍シテ居ん者モアハサラテ
 スガ、其ノ統計ハ大体トノ程ハコソワテ
 居ルマカ、リシカウ苦産党ノ行政

本報編輯部

名

第

號

速記擔任者

この副のやうな仕事は多分資料の上

かん下を致して、唯概括的に申上

のことは、事業所長、~~事務~~後、~~事務~~に於て

苦慮電の部へ連絡して、下を付

キミにテ、ハツキケル、下を付テ居ル

速記擔任者

台名

第

號

速記擔任者

すか、特に熱河地方への影響に

甚だしくやうなものは、是等統計的

な数字を御下下さんやうに御願ひ

マ

○山本(無)政府委員

別之御希望

速記擔任者

活動ハ之ヲモハ、專ラ民衆ニ接觸
 せん部面ニ於テ、一ツノ民ニテ把握せん
 トシテヤラシムルニ全カク望ムテ居ルニ
 スノテ、一般ノ人間テ是ガ苦慮覺カサ
 ン、或ハ普通ノ農民ヲ以テトシテ

了セ、苦慮軍ニ付キマシテモ、支那
 ニ於テ多クハ時ニ二十五万位ナラシ
 持リテ居ラシ、テハナリカトシテ報告
 アラサマカヤリマシ、最近ハ御存ニシ
 ヤシ、苦慮軍ノ活動及ビ苦慮軍ノ

28頁

○石井の妻は、支那に對する之
 他工作トシテ、サウソウモノヲ
 此中シテ、^{國産的}民心把握ヲ
 せん為ニ、汪政權が或る日本が如何せん
 果能的ナリカ事少ヤラトシテ居んカ、

29頁

區別ノ事又モ、カレ常ニ多ク、
 アノ事、サウソウヤラノ關係モア
 三ノ、的確十數字ハ分リマセ
 ン、檢ク大體ノ分ル程分ノ事ハ後
 刻資料トシテ、善上カタクト思ヒマ

會名

第 號

速記擔任者

10日
會等がトウラウ文化工作ヲヤリテ
居んカ、實際支那人ノ民心 把握
ニ對シテトウラウヲヤリテ居んカ、
昔ノ現状及ビ人ヲ執ラントシテ居ラレシ
汪政權ノ政義ヲモヤラセリ、或ハ

衆議院速記員

會名

第 號

速記擔任者

29日
又現在トウラウノ方策ヲ執ラテ居んカ、
例ハハ學校等ハトウラウモラヤラテ
居んカ、或ハ病院等ヲトウラウ風ニ
ヤリテ居んカ、或ハ新民人等モトウラウ文化
工作ヲヤリテ居ント思ヒテ居ルガ、新民

衆議院速記員

會名

第

號

速記擔任者

724
 皇朝の富強は、
 一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 二十一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、
 三十一、
 三十二、
 三十三、
 三十四、
 三十五、
 三十六、
 三十七、
 三十八、
 三十九、
 四十、
 四十一、
 四十二、
 四十三、
 四十四、
 四十五、
 四十六、
 四十七、
 四十八、
 四十九、
 五十、
 五十一、
 五十二、
 五十三、
 五十四、
 五十五、
 五十六、
 五十七、
 五十八、
 五十九、
 六十、
 六十一、
 六十二、
 六十三、
 六十四、
 六十五、
 六十六、
 六十七、
 六十八、
 六十九、
 七十、
 七十一、
 七十二、
 七十三、
 七十四、
 七十五、
 七十六、
 七十七、
 七十八、
 七十九、
 八十、
 八十一、
 八十二、
 八十三、
 八十四、
 八十五、
 八十六、
 八十七、
 八十八、
 八十九、
 九十、
 九十一、
 九十二、
 九十三、
 九十四、
 九十五、
 九十六、
 九十七、
 九十八、
 九十九、
 一百、
 一百一、
 一百二、
 一百三、
 一百四、
 一百五、
 一百六、
 一百七、
 一百八、
 一百九、
 二百、
 二百一、
 二百二、
 二百三、
 二百四、
 二百五、
 二百六、
 二百七、
 二百八、
 二百九、
 三百、
 三百一、
 三百二、
 三百三、
 三百四、
 三百五、
 三百六、
 三百七、
 三百八、
 三百九、
 四百、
 四百一、
 四百二、
 四百三、
 四百四、
 四百五、
 四百六、
 四百七、
 四百八、
 四百九、
 五百、
 五百一、
 五百二、
 五百三、
 五百四、
 五百五、
 五百六、
 五百七、
 五百八、
 五百九、
 六百、
 六百一、
 六百二、
 六百三、
 六百四、
 六百五、
 六百六、
 六百七、
 六百八、
 六百九、
 七百、
 七百一、
 七百二、
 七百三、
 七百四、
 七百五、
 七百六、
 七百七、
 七百八、
 七百九、
 八百、
 八百一、
 八百二、
 八百三、
 八百四、
 八百五、
 八百六、
 八百七、
 八百八、
 八百九、
 九百、
 九百一、
 九百二、
 九百三、
 九百四、
 九百五、
 九百六、
 九百七、
 九百八、
 九百九、
 一千、
 一千一、
 一千二、
 一千三、
 一千四、
 一千五、
 一千六、
 一千七、
 一千八、
 一千九、
 二千、
 二千一、
 二千二、
 二千三、
 二千四、
 二千五、
 二千六、
 二千七、
 二千八、
 二千九、
 三千、
 三千一、
 三千二、
 三千三、
 三千四、
 三千五、
 三千六、
 三千七、
 三千八、
 三千九、
 四千、
 四千一、
 四千二、
 四千三、
 四千四、
 四千五、
 四千六、
 四千七、
 四千八、
 四千九、
 五千、
 五千一、
 五千二、
 五千三、
 五千四、
 五千五、
 五千六、
 五千七、
 五千八、
 五千九、
 六千、
 六千一、
 六千二、
 六千三、
 六千四、
 六千五、
 六千六、
 六千七、
 六千八、
 六千九、
 七千、
 七千一、
 七千二、
 七千三、
 七千四、
 七千五、
 七千六、
 七千七、
 七千八、
 七千九、
 八千、
 八千一、
 八千二、
 八千三、
 八千四、
 八千五、
 八千六、
 八千七、
 八千八、
 八千九、
 九千、
 九千一、
 九千二、
 九千三、
 九千四、
 九千五、
 九千六、
 九千七、
 九千八、
 九千九、
 一万、
 一万一、
 一万二、
 一万三、
 一万四、
 一万五、
 一万六、
 一万七、
 一万八、
 一万九、
 二万、
 二万一、
 二万二、
 二万三、
 二万四、
 二万五、
 二万六、
 二万七、
 二万八、
 二万九、
 三万、
 三万一、
 三万二、
 三万三、
 三万四、
 三万五、
 三万六、
 三万七、
 三万八、
 三万九、
 四万、
 四万一、
 四万二、
 四万三、
 四万四、
 四万五、
 四万六、
 四万七、
 四万八、
 四万九、
 五万、
 五万一、
 五万二、
 五万三、
 五万四、
 五万五、
 五万六、
 五万七、
 五万八、
 五万九、
 六万、
 六万一、
 六万二、
 六万三、
 六万四、
 六万五、
 六万六、
 六万七、
 六万八、
 六万九、
 七万、
 七万一、
 七万二、
 七万三、
 七万四、
 七万五、
 七万六、
 七万七、
 七万八、
 七万九、
 八万、
 八万一、
 八万二、
 八万三、
 八万四、
 八万五、
 八万六、
 八万七、
 八万八、
 八万九、
 九万、
 九万一、
 九万二、
 九万三、
 九万四、
 九万五、
 九万六、
 九万七、
 九万八、
 九万九、
 十万、
 十一万、
 十二万、
 十三万、
 十四万、
 十五万、
 十六万、
 十七万、
 十八万、
 十九万、
 二十万、
 二十一万、
 二十二万、
 二十三万、
 二十四万、
 二十五万、
 二十六万、
 二十七万、
 二十八万、
 二十九万、
 三十万、
 三十一万、
 三十二万、
 三十三万、
 三十四万、
 三十五万、
 三十六万、
 三十七万、
 三十八万、
 三十九万、
 四十万、
 四十一万、
 四十二万、
 四十三万、
 四十四万、
 四十五万、
 四十六万、
 四十七万、
 四十八万、
 四十九万、
 五十万、
 五十一万、
 五十二万、
 五十三万、
 五十四万、
 五十五万、
 五十六万、
 五十七万、
 五十八万、
 五十九万、
 六十万、
 六十一万、
 六十二万、
 六十三万、
 六十四万、
 六十五万、
 六十六万、
 六十七万、
 六十八万、
 六十九万、
 七十万、
 七十一万、
 七十二万、
 七十三万、
 七十四万、
 七十五万、
 七十六万、
 七十七万、
 七十八万、
 七十九万、
 八十万、
 八十一万、
 八十二万、
 八十三万、
 八十四万、
 八十五万、
 八十六万、
 八十七万、
 八十八万、
 八十九万、
 九十万、
 九十一万、
 九十二万、
 九十三万、
 九十四万、
 九十五万、
 九十六万、
 九十七万、
 九十八万、
 九十九万、
 一百万

宋議院速記

會名

第

號

速記擔任者

114
 日本ノ執事トシテ居ル政事ヲアテ
 了セシ、
 同ノ事ト思ヒテ

○山本(熊)政事委員
 人ノ政
 第カ民心ヲ把握スルニ
 方テ

宋議院速記

十仕事ニ全カラ擧ゲサマテ
 居ンヤチ状態ニアリマス
 又同時ニ或ハ同文會等ノ
 ヤツノ居リマシテ教育事業
 諸リ支那人ト接觸スル

ト云フコトガ一番必要デアル
 ト存シマス、現在ニ於キマシテ
 ハ支那ニ對シマシテ或ハ同
 仁會等ノ醫療其ノ他ノモ
 直接民衆ガ受入レルヤシ

支那側ノ地位ヲ又所ニ對シテ
 之ヲ援助スルト云フヤウニ
 己致シテ居リマスルト同時ニ
 支那側ノ各民運動ノ例ハ
 バ青年ヲ指導スル

速記擔任者

人ヲ養成シテ、サレニテ之ヲ
 間接ニ對テ政策ノ遂行ニ
 重要付ケテ行クト云フヤウ
 クトニ全力ヲ擧ゲテ居ル
 ス、其他研究ノ

速記擔任者

6

度ノ豫算ノ中ニ於キテ
 天、對支文化關係ハ相當
 多額ヲ計上致シテ居リ
 又、大抵昨年ヨリモ一千万
 円ソシカ爲ニ増額ヲ致シテ

速記擔任者

5

昇格運動ニ青年運動
 斯ク云フモ、對己ニシテモ日
 本ハ直接間接多大ノ接
 助ヲ與ヘ、テヤク居ヘトシテ
 実情ヲマシマシテ

速記擔任者

會名

第 號

速記擔任者

其ノ重要ト部明ノ一ツテ
 アルト云フ所ニ善目ヲ政シ
 マシテ、諸般ノ施策ヲ
 進メテ居ルト云フ、カ今日
 ノ実情ヲアリマス

衆議院速記録

會名

第 號

速記擔任者

居ルヤウナ実情ヲアリマス、
 免ニ兩対支政策ノ最モ
 無難ナル永久的、サウシテ
 民血帛ニ踏ムテ来サセルト
 云フニハ文化政策ガ

衆議院速記録

會名

第 號

速記擔任者

私ノ後同ハ是ニ打
 リマズ
 ○楠美委員 支那
 事變ノ政第ハ日本ノ
 命ヲ取ル天ノ外ト云フ

速記擔任者

會名

第 號

速記擔任者

○原口委員
 略シテ承ク
 下ノ内容ハ
 大條今概
 時ニ所尋テ
 出素ムト

速記擔任者

會名

第 號

速記擔任者

如、是ハ支那ノ委員會
 南洋ノ委員會ノ話
~~ヲ~~ アツテ、滿洲
 リノ問題ヲ出スナト云
 ヲヤウナニシテ、言ハレタ
 ン

會議院速記

會名

第 號

速記擔任者

乙トハ私カ、言フニ、
 イノ、アリニシテ、此ノ支
 那事ノ變ノ解決ニ付
 テハ、此ノ向ニ寸大進ト
 認 識 出 ン
 ン

會議院速記

耶毒 復人新
 治 又 毛 下 斯
 考 へ 子 孫 心 一 切 あり 矣
 廿 二 日 觀 占 大 力 大
 政 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

連記擔任者

余 謹 誌 謝 意

リ 美 人 新
 又 日本 明治 維新
 新 以 來 あり 矣
 日本 越 民 政 策 一 概
 討 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

第 一 號

連記擔任者

余 謹 誌 謝 意

會名

第 號

速記擔任者

カ四ノ一セトトシカ入
 ソテ右ヲ又ト（指）思ヒテ又
 滿洲問題ハ色ニ公
 同ノ席上テ申止テ
 今ノ形アリテ打之ヲ

本院速記員

會名

第 號

速記擔任者

東亞省ノ首脳部ニ
 於テシテハ此ノ滿
 洲問題トテ多ク
 眞剣ニ今ノ向ハ
 頭ノ中ニ五ノ一ト

本院速記員

夕イハ、清朝如明
 倒シテ、アノ支那ヲ二
 百七八十年治カテ、我
 ノ切々リテ、カ、ハシク用
 キタ、其隊ノ數ハ、タ、タ

余請院通記

リ、研究シテ、其
 信念ヲ持テ、研
 究シテ、其
 切々リテ、カ、ハシク用
 シ、付テ、其

余請院通記

台名

第 號

速記擔任者

○年代木委員長
 ハ速記ヲ止ナリ
 連記中止
 ○年代木委員長
 シ初ハ速記ヲ初ナリ

宗廟院速記

台名

第 號

速記擔任者

六万ヲヤリヌ、我が日
 本ハ此ノ精兵ハ何
 万用ヒテ、アノ
 内題ハ速記ニ取
 可上ナリ、
 莫キナリ

宗廟院速記

23

下井

山本(能)政村

山

3

山本

予无考慮致之于后
 又之トヲ如話由二片
 三置キタノト思ヒシ
 汪精衛政權ノ關係
 他ガトナシ人間カ
 力

二月十八日
 會名 北支

第 10 號

書記擔任者 伊東

滿洲問題ニ関シテ予ハ
 如説ノ如ク大東亞有
 人ハ畢生ノ努力ヲ傾ケテ
 研究ヲ致シテ居リ
 且今政村ニ於

書記擔任者 伊東

内部ノ改革或ハ人的
 組織ノ強化ト云フヤウナ
 コトヲ付キマエテハ新政
 策実行以來先方ノ
 政權ニ於テモ自發的ニ

ト云フコトニ付キマエテハ
 先程大臣カラ^迄御説明
 ノアリコエタ如ク、日女ハ
 汪政權ヲ信頼致スヲ
 告リマス、サウエテ其ノ

忠言ナリ其ノ化ヲ之テ
 之ヲ益ニ宜ニキ方ニ導イ
 テ行クト云フハ是ハ
 常平生ノ仕事ガアリコ
 ス 形式的ニ干渉ニテ

自己ノ創意、自己ノ責
 任ニ於テトニク改善ニ
 テ居ルヤウナ状態ヲアリ
 クスノテ、吾々ハ好意的ニ種々
 ノ實際ノ却面ニ於テ

參戰ニテ、差當ワテ中國
 課セラレタ條件ハ、兵站基
 地トシテ活躍シテ莫クニト、
 ソレカラ戰場ハ想像致シテ
 シテモナイヤウナ氣持カス

斯ウセイ、斯ウセイトシテ
 ウチコトハ、避ケルノガ、
 ノ方、針ヲアリクヌ、以テ
 以テ、少クシト教エテ
 ○本村(武)委員 中國ガ

スレバ重慶ノ兵隊ト南
 京ノ兵隊ガ戦スルノカ
 斯ウナツテ来ルカヲウト思
 ヒマスガ、過去ノ國民政府
 ノ軍隊ノ集散ノ実情

ルノチス、中國ノ兵隊ガ
 アリキリスレ、アメリカ
 ト戦ヲスルヤウナ戰場ガ
 ナイヤウナ氣カスルノチ
 アリマスガ、戰場ガアルト

隊ト南京ノ軍隊ヲ對峙
 セシメタル場合ニ
 南京ノ軍隊ガ負ケテ居
 レバ是ハ逆轉スル危險
 性ガ極メテ多ク、ソレニ

ニ付キ之ヲ、一俣日中軍ト
 協力セシメテ眞ノ戰爭
 ニ役ニ立ツテ居ラカド
 ウカ、正手纏ヒテアツタカ
 ソレカラ正式ニ重慶ノ軍

ニ於テ支那側ノ軍隊
 利用シヨウト云フ義分ハ
 打明ケテ申シカスレハ吾々
 ハ初メカラ持ツテ居リタル
 又、而シテ支那ノ兵隊

對シテ之ヲ一併トシテ考ヘ
 ヲ持ツテオケテニナルカ、如何
 ヒニタイト思ヒマス

○山本(熊)政府委員 参考戦

セシメテ、實際ノ戦ヒノ上

だと思ふ。但し現在
 アメリカに如きハ實際
 空軍ハ「アメリカ」ノ空軍
 ヲ駐在セズメテ居ル。昨
 秋「アメリカ」ニタカ、ソレ

ハ現在ノ米英ニ對シテハ
 戦争出来ナイハナイ
 カ、重慶トノ關係ニ於テ
 之ヲ利用シ得ルヲ
 ハナイカ、曰クハ其ノ通り

居ルノチアリトス併ニシレ
 ガ重慶軍トヤツテ居ルト
 ヲフ其ノ兵カラ見テスレバ
 米英ニ対シテモ間接ニハ
 對抗ニ得ルコトニナラテ居

マダハ支那ノ軍隊ノ中ニ
 ハレテ居ラタノガ最近ハ
 アメリカレノ軍ヲ支那ニ
 駐屯サシテ日中ヲ調整ス
 スルト云フ隊形ヲ述フテ

ココハ軍ノ方ノ關係アリ
 コスルノヲ、如何ニ利用ス
 ルカト云フコトハ、私カヲハ申
 上げラシマセヌガ、最近ノ
 討伐、重慶軍トノ戦ヒナ

リ、其ルガ、何レニ致之コトニテ
 モ軍事上其ノモノニ付テ参考戦
 ニ依テ利用之得ルト云フ
 コトヲ、参考戦ト云フコトハ
 吾々ハ少シモ考ヘテ居ナク、

會名

第 號

○原口委員

予ハ從來各縣ノ精兵ノ
 導守或ハ連絡ト申シマス
 カ、サウ去テ、特務ノ
 關所屬トシテ連絡員トシ

會名

第 號

速記擔任者

ドニハ参加シテ、向フノ軍
 隊トシテ利用之得ル程
 度ニ、最モ作戦上有利
 ニ之ヲ使ワテ居ラレルト云フ
 ヤウニ私共ハ表ツテ居リマス

24日

詔之依りて下、サウキフ
 ハトウキフ風ニナルア
 リマセウカ、華北ノ
 員會等ニサウキフ指
 トキモノ移ルノアリマ

23日

イテ居ラシ、又内面的ニ
 本軍ノ特務機關トキ
 カ其ノ連絡員ヲ指揮
 命シテ居ラシカノヤ
 アリマスガ、今ノ大
 臣ノ出

會名

第 號

速記擔任者

26 II

○山本(熊)政府委員 先
 程大臣カウモ 説明申上ゲマ
 之夕ヤウモ 日本加 殊一軍ハ
 作戰路準備ト云フ 仕事ヲ
 ケヲ云んヤウモ ナリマシ
 ハ

速記擔任者

會名

第 號

速記擔任者

25 II

セウカ、又 從來アツタヤウ
 ナ日本ノ 縣政ニ 對スル 指導
 的地 俾ト云フモノハ トリ云
 フ風ニ ナルノ アリマセウカ
 其ノ 處ヲ 伺ヒマス

速記擔任者

28

了、其ノ仕事ハ皆支那側
 移マシテ、支那各地ニ施
 了其ノ機關ノ是等ノ仕事
 了強ト向フニ善讓ヲ了シ
 了居んと云フノガ今口ノ実

27

從來特務機關ガヤソコ居
 リマシタ縣ノ指導ト力或ハ
 省政存ノ指導、ソシカ
 了しニ周知スル事共々了元
 了了ト全部之ヲ取止メ了シ

30 頁

ツタ、斯う見たりと宣い、
 了りませカ、ソレト又華地
 政務委員會ニ対せん向接ノ指
 導ハ、勿論大東亞省ニ依ッ
 テオヤリタルト思ヒマスガ

29 頁

情アリマス

○原口委員 廿九致シマ

スト、華北政務委員會ノ指
 導權ガソト縣ノ中ニマッ
 ト滲透シ、
 信ん状態デア

從來ノ通りサシキテ人ガ
 アツク、ソシカ縣ノ中ノ般
 間ト云フ立場ヲ入ツテ行
 クノカ、其ノ辺ハトウ云フ
 下ト云フワラ居リマセリカ

速記擔任者

速記擔任者

日本人ノ願向トカ云フヤウ
 ナモノガ華北政務委員會ニ
 又強化サシテ行カシム方針
 ナアムノカ、或ハ又各縣等
 2 旅々ニ連絡ト云フモノハ、

速記擔任者

速記擔任者

34日

入、而して從來ノ精其ノ他
 之於今ニ連絡員ト云フモノ
 ハ之ヲ廢シ之ニテ、之ニ代
 りて之ノ新ト入レシメ又
 但シ是ハ少シ打明ケテ申

速記擔任者

33日

○山本(熊)委員
 精力不安員會ノ指導ノ下ニ
 精其ノ他省ハ、華北ニ関ス
 ル限リハ服従シテ行クト
 云フ建前ニナラズ、古リマ

速記擔任者

之マスルシバ、経済其ノ地ニ
 於テ先方カ必要ト云ク
 ク少数ノ場所ニハ、或ハ向テ
 一要求ニ應ジテ、経済願
 同ノ如キモノ、地方政權

省辺リニハ特定ノ所ニ置
 クヤラニナシカニ知レヌセヌ
 今ノ所ハ從來ヤツテ居リ
 マニ夕連絡員ハ全部引
 揚ゲサシテ、サシニテ更

衆議院速記課

38

運之由答ハリ、然ヒタイト
 思ヒマスガ、今度ノ対支取
 策ノ根本理念ト云フモノハ
 租界之還付ニ、敬慮ニ
 トレク返シテヤント云

39

大ニ運力ナイト云フ者
 針ヲ付リス
 ○山岸井妻久 丁度秘密
 會ヲアリスカ、此知
 ケヲ言ハシ問題ニ付テ率

會名

第 號

通記擔任者

40 頁

トウキフ西考ヘテ其ノ
 本理念ヲ西考ヘテナク
 リス力、上流方面ニ在
 留日女子ノ非常ニ勤
 勞ニヤリテ私ノ聞クニ

通記擔任者

會名

第 號

通記擔任者

39 頁

フアトナリテ、日本
 中心トシテ地支ニ於
 足場ト云フモノハ、
 ナクナリ米ノアトニ
 思ヒマスガ、サリテ

通記擔任者

子居ツタ家屋下力、甘ウキ
 子モノツドニク、離シテ行
 子積リテアレンカ、其ノ美ヲ
 一ツ伺ヒマス

〇山本(能)委員

(租界)
 活外法橋

子居リマスガ、實際戰事ニ従
 立ツモノタケ、所謂管工トカ
 甘ウキツ兵器工場トカ去
 子モノハ、離サナイノツセウ
 カ、其ノ他ノ英米人ノ持ツ

49

姓名

第

回

通記責任者

等ニ付テ由量及ニナリマシ

クガ、果ハ私共ハ返シテモ

足場ヲ失ハヌ

東京府立第一中学校

3

今名

2日

御注意致す事、内国民待遇
 與へらるゝ云々トテ、規定致
 したる居りマス、支那人ト同
 様ニ支那各地ニ於テ待遇
 受ケル上之ヲ又トシ、ナラズ居

連記擔任者

二月十八日

今名 北支

川

連記擔任者

山中 徳平

1日

失ハヌト云フ前提ヲ事業
 井居リマス、御存心ノ如ク
 今度ノ協定ノ中ニモ、ア
 マシタル如ク、支那人全部
 解放ニテ、而モ日本側ガ

連記擔任者

抵的ニ大ナク活動出來ル
 餘地が出来テ、其ノ上ハ
 心配ナイト思ヒマス、
 尙未附加ヘテ申上分テ置
 キマスガ、租界ハ還付

マスルカラ、從來ノ如ク租
 界ハ或ハ專管租界トカ
 共同租界ノヤウナ區々ナ
 所ヲ押ヘルコトニ依ッテ任事
 シスルト云フマリモ、モウト根

6 頁

マスヲテ、ソレヲ前提トシテ
 其ノ粹ノ中ニ於テハ斯ノ
 一如キ從來ノ遺物デアリ
 又ハ還シテモ宜イ、斯ノ
 云フ方針ヲ居ルヲ知アリトス

5 頁

治外法権ノ撤廃ト云フテモ
 其ノ根柢的ニ日支ノ
 關係ニ於テハ、租界ナリ
 或ハ治外法権以上ノ
 提携カ、ソレヨリ出来テ居リ

敵艦ノ中テ日本艦が
 艦ニ共築園ノ建設ナリ
 或ハ戦争定遂ニ必要
 ナルモノハヤハリ日本側ヲ
 持ツテ行クヤウニテソレ

ソレカラ敵艦ヲ奪回ニ還
 スノテハナイカト云フ御懸念
 テ下リマスガ是ハ一應内丸を
 テアルト思ヒマスガ先程
 大臣モ説明致シマシタル如ク

二付キマシテモ 十分考へ
 七回ノ日支提携ニ阻害ト
 ナラヤルガ如キコトヲ十分
 考慮致シマシテ、御懸念ノ
 ヤウナコトハナイヤラニ處理

以外ノモノヲ支那ノ經濟
 促進ナリ、盡力カ
 爲ニ還シテヤラテ行クト云フ
 コトニテワテ居リマス、ト同様ニ
 今後ノ經濟機構其他

ノ方天相書曰マノマノノ子
 其ノ觀念ハ此ノ際如ハ
 シワタリ 棄テテ 世ニヒクイ
 ト云フ 強イ 希望ヲ 持テ
 居リマス

シテ 行キタイ、 唯 從来ノ
 経緯ニ 因リシテ 従来ノ
 カ 離シシハ 道々ニ 対テ
 關係ハ 善轉 シナイト云フ
 ナウナ考ヘテ 持タシル 在留民

14

テモアリマスカ、ソレが
居ラマスカ

○山本(熊)善員

ソレが決定

孰シテ居ラマス

○岸井善員

ソレが決定

13

○岸井善員

ソレが決定

云フ種類ノ更ノハ遠シキ也

斯ウ云フ種類ノ更ノハ云フ

ハ留保シテ置クト云フ何

中サウ云フ具體的ナモノ

依りて一應御諮詢ヲ承じ
 タイト思ヒマス
 岸井委員 天下一つ御信
 シタイト思ヒマスが、今迄
 國民政府ノ参戦以來、最近

手シテ戴ク譯ニ行キマセ
 マカ
 山本(熊) 西條委員 只今ハ
 マカオ示シノ時機ニナリ
 テ居リマセ又、今ノ大方針

會名

第 號

通記責任者

18 頁

ヤウニ ヤウテ居ルヤウニ
 アリマスガ、ソレカ為ニ
 長个向掛ヲヤウタ清
 工作ナンカノ地域カラ
 資ヲ取与シテヤウテ居ル

會名

第 號

通記責任者

17 頁

ニナラテ上海ニアル物資
 之ヲモソク日本軍が押入
 登録サシテ居ルヤウニ
 總テノ物資ヲソウケリ
 押ヘテシマフテ外へ出サセヌ

○山本(能)政府委員 所記
 やう十事實モアルト存シ至
 今迄ノ新政等々ノ遂行ニ
 固聯致シタシテ、サウキ
 ヤウ十弊害ハ漸次除去

刻々ニ情勢カガ悪化シテ
 居ル、斯ウ云フコトヲ私ハ
 極ク最近 方々カラ耳ニ
 シテ居リマスガ、サウキ
 態ハ、アウキヤ又カ

22 日

物次員ヲ押入テ、
 以シテ初テ
 サヌヤラニシテ行クト云フ
 ストニシテハ
 除キスルトコロテナイ、
 故々
 以シハ激シクナルヨリ
 外ニ仁
 操カナイ、
 新ハ此処ハ餘程

速記擔任者

21 日

マ
 ス
 心テ行クト云フ
 體ヲ知アリ
 日岸井委員
 陰去スルト
 云ヒマシテモ、
 今戦争ニ付
 要ダカラト云フテ
 トンク

速記擔任者

廿ウスレハ、此ノ五年間ノ
 支那事変トテテラズルハ
 根本的ナ意味ヲ失フ
 乙マフヤウチヨトニナリハ
 セ又カ、折角始メテ清郷

上中ニヤラナイトハニテモ
 ナイコトニナルハナイカ
 ト云フコトヲ 非命ニ懸念
 スルカガ

26 頁

如夕力、サウキフヲトナシ
 一ツスル、除去シタイト
 一ツスル、彼々ソレハ激シクナ
 リスル、和ハサウキフニ
 シテ除去出来ラスカトウカ

25 頁

工作かサウキフボクニ
 一ツ行ク、上海ノ如ク情勢
 加サウキフ一ツ居ル、強ト
 何ノ為ニ五年間支那事
 変ノ為ニ五ノハ血道ヲ上

28日

争ノ必需物資ノ確保ニ
 ト云フ方針ニ依リテ
 マセ又、併シ其ノ確保
 方法ト致シマシテハ、
 是ハ地
 下資源又アルニ、地
 上資源

速記擔任者

27日

具体的ナ案ハオアリ
 多ク一ツ……
 ○山本(熊)政府委員
 除却
 云々ト云フ事トハ一
 才詰弊
 カアルカモ分リマセ
 又ガ、戦

速記擔任者

30日

會名

或ハ經濟ニウマクヤク
 行クト云フ所ニ立眼ヲ
 置クヲ行キタイト思ヒス
 具體的ノ問題ニ付キス
 子ハ筆ト云十分相談シテ

第 號

速記擔任者

一 速記擔任者

29日

會名

毛アハ云、今度ノ新政策ハ
 中方案ニ依リ支那側ノ
 創意ト工夫ト云フモノヲ
 十分ニ派シテ傳フモノニ依リ
 子物價ニ余計出サセム

第 號

速記擔任者

一 速記擔任者

30日

會名

或ハ經濟之ウマクヤク
 行クト云フ所ニ主眼ヲ
 置クヲ行キタイト思ヒス
 具體的ノ問題ニ付キス
 子ハ筆トモ十分相談シ

速記擔任者

29日

會名

毛アハ之、今度ノ新政策ハ
 中方案ニ依リ支那側ノ
 創意ト工夫ト云フモノヲ
 十分之派シテ傳フモノニ依リ
 子物實ニ全部出サセラル

速記擔任者

東洋經濟社